

令和5年度第2回運営推進会議議事録

日時： 令和5年7月27日（木） 15:00～16:30

会場： グループホーム萌 レクリエーション室

出席者：

利用者家族	2名	出雲市役所様	1名
地域住民の代表	9名	その他（ホーム長・専務・職員）	4名
欠席	2名		

.....

1. 防災と感染症について

- ①7/8の線状降水帯における避難状況
- ②BCPの作成と施設の災害リスク

2. 当施設の取り組み

- ① 笑ってもらうこと・季節を感じる
- ② 「したい！」と感じる企画の立案
- ③ その人らしくあること～家族とのつながり～
- ④ 採用ホームページの立ち上げとInstagramの1年間

3. 研修の実施

- ・バイタルサイン研修～高齢者の身体・いつもと違うに気づく視点～

4. おわりに

（利用者ご家族のご意見）

- ・認知症ケア勉強会について：自分のこととして興味がありました。自身が当てはまることもあり、少しでも遅らせることや、現状の自分を知ることが出来ました。
- ・母が今後どうなっていくのかが分かり、心構えもしないといけませんが、頭がスッキリしたようです。関わり方や今の状況で母のことがよく分かり、今日も母に笑顔がありました。職員さんによくしてもらっているからだと思いました。今後も勉強会に参加しますね。

（運営推進委員様のご意）

- ・初めて訪問しました。季節感を大切にされ、展示物や行事を大切にされていますね。ご家族のつながりも良い印象を持ちましたし、研修や情報提供もされていることさらにInstagramもされて施設内がとても分かりやすくなっていると思いました。

- ・熱心に利用者様の為に頑張っておられると感じました。BCPは小学校では、まだどこまで作成するかは求められていないのですが、大変勉強になりました。今後の活動として、市や中学生を対象とした認知症サポーターもされてはどうかと思いました。

→（専務）認知症サポーターの件、大変参考になるご意見を頂戴しました。ありがとうございます。

- ・ため池の決壊については初めて知りました。ため池の洪水レベルはありますか？

→（専務）現状ではレベルの測定はできないようです。もちろんだのぐらい溜まっているかも見れないので

今後の課題になってきますが、まずは周辺状況を把握することしかできないかと思っています。

・ため池の決壊については驚いた所です。主人に聞くと湯の丘にもため池があり、用水路がないので危ないと言っていました。避難するしかないですが、怖さを感じました。また、日頃から草取りもしていないと川に水が溜まりやいので、日頃からやっておく必要があると感じました。今後、行事の際には七夕でも昔と今は違うので小さいころなどの昔の思い出を七夕などで話されると昔話で盛り上がるかもしれませんよ。

・2年前にも洪水で土砂崩れがありました。それから何もメンテナンスされていないのですか？

→（専務）実は個人所有の土地なので、なかなか出来る部分出来ない部分があるそうです。

・昔は食事も全て手作りでしたが、最近は既に出来たものを食べる事が多くなりました。便利にはなりましたが、萌では一生懸命に利用者さんが昔されていたことを生かそうと色んなことをされていますね。

・防災については、昔は宍道湖が家の屋根まであがってきたことがあるので、そういった備えもしておくといえます。また、意欲を掻き立てる企画はいつも色々工夫されていますね。特に、ゆめタウンへの買い物へ一緒に行くことはとても良いです。

・『かきくけこ』感動・興味を持つ・工夫すること・健康（運動）・恋（人のことを想う）が大切。